

軍事極秘

自昭和十七年六月一日
至昭和十七年六月三十日

陣中日誌 第八號

歩兵第十一聯隊第七中隊

20508

0504

月	日	勤務
六月	一日	月曜日 晴 於クアラピラー
		一、十時ヨリ十二時三十分迄 高橋伍長以下二十三名 体操 銃剣術 假標刺突ヲ實施セシム
		二、午後勤務ヲ支障ナク下士官ノ外出ヲ許可ス
		外出者五名 二十一時全員異常ナク歸隊ス
		三、午後体操遊戯ヲ實施セシム
		四、本日勤務員左ノ如シ
		巡察將校 郷端 曹長
		日直下士官 倉本 伍長
		日直上等兵 林上 等兵
		第一分哨 北條 伍長
		以下五名
		第二分哨 山本 兵長
		以下五名

陸軍

0505

	<p>第三分哨 佐々木上等兵</p> <p>以下五名</p>		
命令五	<p>第二大隊日々命令 六月一日一五〇〇 セレムンバノン</p>		
	<p>一印度兵教育期間内地部隊ヨリ出スル助教 助手ノ宿營給養ヲ左記ノ如ク擔任スベシ</p> <p>左記</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="750 716 877 1254">教育者差込部隊 第七中隊</td> <td data-bbox="750 1254 877 1836">宿營給養擔任部隊 第五中隊</td> </tr> </table>	教育者差込部隊 第七中隊	宿營給養擔任部隊 第五中隊
教育者差込部隊 第七中隊	宿營給養擔任部隊 第五中隊		
會報六	<p>會報 六月一日一六〇〇 セレムンバノン</p>		
	<p>一現在使用シアル公用證及外出證ニシテ經第五 一七三部隊以外ノ部隊號ヲ記セルモノハ六月 十五日以後使用ヲ禁ズ</p> <p>爾今部隊名ハ通稱號ヲ經第五一七三部隊 用アルモノトス</p>		

(納付典・東京)

0506

依テ各隊ハ右ニ依リ六月十日迄ニ公用證及外
出證ヲ調製ノ上捺印、為部隊本部ニ差出サ
レ度

會報

南警備隊會報

六月一日一六〇〇
セラムバン警備隊本部

一、最近軍人軍屬ニシテ日本紙幣及弗軍票以
外ノ軍票等ヲ使用スル者アル由ナルモ弗軍
票紙一海峽弗紙幣以外ハ使用セザル標嚴ニ
注意セラレ度

之が為各隊ニ於テ使用禁止ノ軍票等ハ速ニ
交換セシムル様處置セラレ度

一、物資不足ニ伴ヒ土民ニシテ軍人軍屬ニ物資
購入ヲ依頼セントスル者アル由ナルモ非違行
為ヲ生シ易キニ付之が依頼ニ應セザル様徹
底セシムルト共ニ之が監督ヲ嚴ニセラレ度

<p>一、重油不足シアル現状ニ鑑ミ各隊ハ萬止ムヲ得 ガル場合ノ外延燈ヲ請求スルガ如キトナキ 様スルト共ニ不要電燈ノ消燈ヲ勵行セラレ</p>	<p>度 一、軍紀風紀ニ就テ 一、警禮ハ概ニ良好トナリタルモ未ダ外形不良 ナルモノアリ 點呼時等ヲ利用シ更ニ教育 セラレ度</p>	<p>二、歩行ノ態度軍人タルノ威容ニ乏シキ者アリ 三、人力車ヲ利用スル者アルモ見^識シキニ付努メ テ利用セザル様指導セラレ度</p>	<p>一、一般ニ燈火管制殆ド實行セラレアラザルニ付爾 今徹底的ニ實行スル様隊長ヨリ注意アリタ ルニ付遺憾ナキヲ期セラレ度</p>
---	---	--	--

(納谷典・京東)

0508



陸軍	先ツ軍隊率先全範シ次グ地方側ニ實行ラ督勵スル筈	一 未ダ私用ヲ辨ズル為自動車ヲ使用スル者アリ嚴禁セラレ度	現在員八 六九名	月 日 六月二日 火曜日 晴 於クアロピラー	一 十時ヨリ山四少尉以下二十四名示威並ニ肅清行軍ヲ實施セシム 十三時二十分全員異常ナク歸隊ス 土民ノ動靜異常ナシ	二 本日勤務ニ支障ナキ全員外出ヲ許可ス	外出者十四名十八時全員異常ナク歸隊ス	勤務 三 本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察下士官 菊原重普	日直下士官 高永重普
----	-------------------------	------------------------------	-------------	---------------------------	---	---------------------	--------------------	--------------------	------------	------------

0509



日直上等兵	八木上等兵	渡利上等兵	第一分哨	以下五名	加谷兵長	第二分哨	以下五名	藤崎伍長	第三分哨	以下五名	張定天	陸軍軍曹	二張院	陸軍軍曹	陸軍伍長	高橋清秀	以下四名	印度兵教育ノヲメ本日ヨリ「セラムバン」部隊本部ニ於テ當公ノ間勤務ス	現在頁五	六四名
-------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	------	-----------------------------------	------	-----

(納谷典・京東)

0510

陸軍

月	日	勤務
六月	三日	水曜日 晴 於 クアラビラー
		一本日八衛生日ナルヲ以テ全員舎外ノ清潔整頓 個人衛生ニ全カヲ注ギ午前中完了ス
		二勤務下番者ノ外出ヲ許可ス
		外出者九名十七時三十分全員異常ニク歸隊ス
		三本日ノ勤務員左ノ如シ
		巡察下士官 菊原 軍曹
		日直下士官 高永 軍曹
		日直上等兵 八木上等兵
		第一分哨 平岡上等兵
		以下五名
		第二分哨 桂伍長
		以下五名
		第三分哨 竹下伍長

0511



會報	一	南警備隊會報	以下五名
一 食中毒豫防ニ關スル件	最近他軍ニ於テ頻々食中毒様ノ患者發見シ	アルヲ以テ各部隊ニ於テハ之ガ豫防ニ留意シ	大月三日一六 セラムバン警備隊本部
特ニ左ノ事項ヲ嚴守セラレ度	一 冷凍食ハ成ル可ク早ク調理シ新鮮ナルモノト雖モ必ず炙煮ノ上供スルエト	二 罐詰類ハ必ず食卓直前開罐スルエト	
三 一般食品検査ノ勵行	四 家庭印ノ生食ハトコロ汁アイスクリーム使用	五 食ムハ絶対避クルエト	
六 桐油ヲ誤用セザルエト	六 桐油ヲ誤用セザルエト		
現在員五	六	四	名

(納善典・京東)

0512

陸軍

勤務	月	日
<p>二本日、勤務員左ノ如シ</p> <p>巡察下士官 菊原 幸 曹</p> <p>日直下士官 高永 幸 曹</p> <p>日直上等兵 八木 上 等 兵</p> <p>第一分哨 倉本 伍 長</p> <p>以 下 五 名</p> <p>第二分哨 打坂 伍 長</p> <p>以 下 五 名</p> <p>第三分哨 山本 兵 長</p>	六月四日	木曜日
<p>一 明日聯隊長殿初度巡視セラル、ニ付午前中全員舎外ノ清潔整頓ヲ實施セシム</p> <p>二十九時勤務ニ支障ナキ全員市外映画館ニテ映画ヲ觀覽セシム 二十時甲公異常ナク歸隊ス</p>	晴	於クアラビラー

0513

命	命令	第二大隊日々命令	六月四日一六バロ	以下五名
		一、陸軍伍長	高橋清秀	
		同陸軍上等兵	鉄岩土之助	
		同同	高橋量	
		同同	保田守	
		特殊勞務隊教育期間助教助手ヲ命ズ	(頭書ノ日附)	
會	會報	五月	六月四日一五	南
		一、酒保ニ於テ購買セシ煙草ヲ外出先ニ於テ一般市民等ニ對シテ價或ハ其以上ノ價格ニテ轉賣スル疑アル者アリ		
		此、如キ行為ハ憲ニ皇軍ノ威信ヲ損スルノミナラズ市井ニ於ケル民需品極度ニ缺乏セル今日		

(納谷典・京東)

0514

陸軍

恰モ軍隊ニ於テハ多量取得シアルガ如キ事實ト
相反セル疑念ヲ抱カシメル憂アリ
將來嚴ニ戒メ若シ之ヲ犯ス者アラバ嚴罰ニ處
ス

會報六

南警備隊會報

六月四日 大
セレムハン警備隊本部

一 差出軍事郵便物有書ニ未ダ馬來次遣ト記載ス
ル者アリ右ハ叢ニ寫ラ配布セシ陸王密第九三
號ニ依リ「南方次遣」ト記スベキモノニ付一般ニ微
底セシメラレ度

二 憲兵隊ノ通報ニ依レバ備隊ニハ軍事郵便物ノ防
疎軍紀ニ抵触スルモノハ無キ由アルモ最近他隊
ニハ風紀上遺憾ノモノ多シト為参考

異動

陸軍一等兵

吉村謙一

第九十六兵站病院ニ於テ治療中、處治愈退

0515



月 日	現在頁八	院本日中隊=復歸ス
六月五日	六五名	院本日中隊=復歸ス
金曜日	晴	於クアラポラー
本日ハ新聯隊長初度巡視ヲ實施セラル	中隊ハ	十時四十分余前ニ集合シ警門前道路上ニ整列
出迎ヘラ爲ス	約二十分間	良好ナル成績ヲ收メ終了ス
三十一時四十分ハハウレ警備隊巡視セラル、ニ付中隊長	十二時	長隨從ス警備班ニ諸情況報告全ク終リ
五十分歸隊ス	四十六時三十分ヨリ十八時迄	倉本伍長以下二十四名体
標遊戯ヲ實施セシム	五十九時三十分ヨリ	勤務下番者ヲ映画見物ニ赴カシム

(納谷典・京東)

0516

勤務六本日ノ勤務頁左ノ如シ	巡察將校	日直下士官	日直上等兵	第一分哨	第二分哨	第三分哨	命令々 高警日命第四ニ號	南警備隊日命令	六月五日一六 セレムバン警備隊本部 一 來ル六月六日ヨリ十二日迄英團被服修理班來隊ス ルニ付各隊ハ左記ニ依リ被服修理ヲ實施スベシ
陸軍	山口少尉	小田兵長	佐々木上等兵	加谷兵長	以下五名	藤崎伍長	以下五名	北條伍長	以下五名

0517

月 日 修理實施部隊	橋 要
六月 十九日 第二大隊	一 修理場所 聯隊本部自動車班 二 修理品 三ハ片布ヲ附シ註記ヲ 明瞭ナラシムルニト 三 吉原被服部下士官ハ之ニ主會シ修 理完了後速ニ修理状況ヲ擔任經理官 ニ報告スベシ
四 宿泊給養(將校ニ下士官共一九)殊 隊本部ニ於テ擔任スベシ 但シ「マシカ」部隊ハ本部隊ニ於テ 擔任スベシ	本日左ノ如ク加給品ヲ分配ス
加給品ハ	サイダー 各人ニ付キ
煙草	一本 四十本

(納谷典・京東)

0518



異動九	陸軍上等兵 長 光 正 勝	陸軍
現在員	事務整理ノタメ大隊本部ニ於テ勤務中ノ處 本日終了中隊ニ復歸ス 六六名	
月日	六月六日 土曜日 晴 於クアラピラー	
一 本日ハ衛生日ナルヲ以テ全員ニ個人衛生被服ノ洗濯等實施セシム 二 國防週間ニ基キ我が國體ノ精華ト諸民族ニ我ガ抱懐スル高邁ナル構想ト新國民ノ處ニ行クベキ道ヲ指示スル目的ヲ以テ上映サル、宣傳映画觀覽ノ為十一時全員市外映画館ニ赴カシム 十四時觀覽ヲ了リ全員異常ナク歸隊ス	三 本日ノ勤務員左ノ如シ 巡察將校、山口少尉	

0519

月日	現在頁	加給品											
六月七日 日曜日 晴 於クアラロー	五	六六名	ビール 三人ニ付キ 一本	清酒 一人ニ付キ 一合	本日左、如ク加給品ヲ分配ス	以	第三分哨	以	第二分哨	以	第一分哨	日直上等兵	日直下士官
						以下	桂 伍長	以下	林 上等兵	以下	竹 伍長	佐々木 上等兵	小田 伍長

二十時ヨリ中塚草昔以下二十一名金前ニ於テ約二時間

(納谷典・京東)

0520

陸軍	銃剣術ヲ實施セシム 二日夕點呼後休操軍歌演習ヲ實施セシム 勤務 三本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察將校 山口少尉	日直下士官 山田兵長	日直上等兵 佐々木上等兵	第一分哨 山本兵長	第二分哨 倉本伍長	第三分哨 以下五名	八木上等兵	以下五名	陸軍一等兵 北川行三	加果給 勤務 輕第五一八八部隊ニ於テ治療中ノ處治療
----	---	-----------	------------	--------------	-----------	-----------	-----------	-------	------	------------	------------------------------

0521



現在員	退院本日中隊復帰ス
月	六月八日
日	月曜日 晴 於クアラピラー
勤務	一十時ヨリ「クアラピラー」五方第一分哨附近ニ於テ 對空連絡 通報等防空ニ關シ三時間ニ亘リ演 練ス 演習人員三十名
勤務	二十四時「公一」般休養ノ目的ヲ以テ昭和「ハーク」ニ 外出ヲ許可ス
勤務	三警備隊各員ノ嚴正ニシテ積極的ナル勤務警戒ニ 依リ住民ハ全ク安靜 治安ハ維持セラル、状況ナリ 依ツテ教育訓練ニ專念スル目的ト併セ以ツテ 本日ヨリ第一分哨ヲ撤去シ十時引揚ヲ實施ス 本日ノ勤務員左ノ如シ
勤務	巡 察 下 士 官 中 塚 軍 曹

(納谷典・京東)

0522

陸軍	日直下士官 加谷兵長	日直上等兵 藤岡上等兵	第二分哨 藤崎伍長	第三分哨 以下伍長	步兵第十聯隊日日命令 六月八日第一本部	一 兵器ニ關スル書類検査ヲ別紙検査豫定ニ 區分表ニ基キ實施ス 六月八日第一本部	會報 六月八日第一本部	一 自轉車修理ニ經驗有ル下士官兵ヲ別紙様式 ニ依リ調査ノ上來ル六月十二日會報時迄ニ提出 相成度	陸軍一等兵 森田國雄	異動

0523

現在員	六六名	暗號予教育、為隊本部ニ勤務ヲ命セ ラレ本日出張ス
月日	六月九日 火曜日	晴 於クアラピラー
勤務	三 勤務ニ支障ナキ下士官、外出ヲ許可ス 外 出人員四名、二十時無事歸隊ス	一、十時十八「クアラピラー」近郊肅清行軍實施、為 中隊長以下三十七名警門出發、各所ニ分散肅 清行軍ヲ行フ、十三時三十分全員無事歸隊ス ニ、十七時ヨリ日直下士官ヲシテ約一時間基本体操ヲ 實施スベシム
	巡 察 下 士 官 中 塚 軍 曹 日 直 下 士 官 如 谷 大 長	

(納谷典・東京)

0524

兵器關スル書類検査區分表	昭和十六、六、六、六 高橋部隊	要
兵器配當簿	規則様式第十四ニ依ル	
彈藥受拵簿	右同 第十七ニ依ル	
諸規程		
發翰來翰		
兵器補給送納拵出証票綴		
兵器修理傳票綴	一般兵器 自動車 隊外等	
兵器現況表	銃器 砲兵 自動車 彈藥 燃料 音動車 自轉車 自働車	
兵器補充請求書		
射耗彈藥調査表		
兵器毀損(七失)調査表		
兵器毀損(七失)理由書綴		
兵器整理日報	押收ト後送ハ別冊トス	
兵器履歴表		
兵器番号簿表	番附アル兵器ハ全数調製	
兵器検査ニ關スル綴		
兵器ニ關スル訓令訓示請評綴		
各種兵器統計表		
兵器ニ關スル参考綴	兵器委員ニ於テ印刷配布セルモノ迄ニ其ノ他	
兵器ニ關スル圖書		
押收兵器品目買数表		
備考	備一本表記載書類、検査範圍ハ昭和十六年一月ヨリ昭和十七年五月迄トス 一 受驗書類ハ六月十八日迄ニ(各大隊ニ在リテハ大隊本部ニ於テ取纏メ)兵器委員ニ提出スルモノトス	

陸軍

日直上等兵 藤岡上等兵

第二分哨 桂 伍長

以下 伍長

第三分哨 北條 伍長

以下 伍長

現在員五 六 六 名

月 日 六月十日 水曜日 晴 於クアラピラー

一 本日ハ中隊ノ休養日ナルヲ以テ午前中日直下士

官ヲシテ完全ナル矣卷迄ニ自轉車ノ手入ヲ實施

セシム

二 午後勤務ニ支障ナキ全員外出ヲ許可ス

外出人員十名十八時全員異常ナク歸隊ス

三 十九時ヨリ志氣奮揚ノ目的ヲ以テ軍歌演習ヲ

實施ス

0526

勤	勢	四本日ノ勤勢員左ノ如シ
	巡察下士官	中塚軍曹
	日直下士官	加谷兵長
	日直上等兵	藤岡上等兵
	第一分哨	佐々木上等兵
	第二分哨	以下五名
	陸軍一等兵	倉本伍長
異	第四野戦病院入院中ノ處迄療養退院本日	以下五名
	中隊復歸ス	柿本博
現在頁六	六々名	
月日	六月十一日 木曜日	晴於クアラピラー
	二十時ヨリ「クアラピラー」射撃場ニ於テ中隊全員ノ實	

(納付典・京東)

0527

陸軍

<p>包射撃ヲ實施ス十三時二十分異常ナク終了ス</p>	<p>本日ノ射撃ハ大体ニ於テ射撃章紀命中率</p>	<p>英ニ良好ナルモ猶細部ノ英ニ關シ不確實ナル</p>	<p>モノアリ依ツテ射撃法ニ劍術ハ歩兵ニ取リテ</p>	<p>最も大切ナルモノナレバ皆ハ寸暇ヲ惜ミ射撃豫</p>	<p>行演習ヲナシ熟達スルヲ要スル旨訓示ス</p>	<p>ニ午後射撃後ノ完全ナル兵器ノ手入ヲ實施セシ</p>	<p>ム</p>	<p>勤務ニ本日ノ勤務員左ノ如シ</p>	<p>巡察下士官 郷 端 曹 長</p>	<p>日直下士官 桂 伍 長</p>	<p>日直上等兵 長 原 上 等 兵</p>	<p>第一分哨 平 岡 上 等 兵</p>	<p>以下五名</p>
-----------------------------	---------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------------	------------------------------	----------	----------------------	----------------------	--------------------	------------------------	-----------------------	-------------

0528

	第二分哨 山本上等兵
會報	以下五名 六月十一日一六〇〇 セレムバン部隊本部
會報	六月十七日、兩日突圍司令部ニ於テ團隊長會 同ヲ實施セラル各隊質疑及意見アラハ來ル 十四日迄ニ提出セラレ度
ノ	一八月中旬聯隊特別射撃（小銃砲（重機關銃） ヲ實施セラル、豫定ナリ
會報	射撃方法共、他細部ニ關シテハ後命セラル 南警備隊會報 六月十一日一六〇〇 セレムバン警備隊本部
會報	一第四野戰病院入院患者慰安ノ為各隊ニ古往 誌等アラハ取纏ノ警備隊本部ニ提出セラレ度 一最近軍人軍属ニシテ地方醫師ノ診察ヲ受ケ 不良ナル結果ヲ來シタルモノ數例アリ

(納谷典・京東)

0529



陸軍

會報六

破テ各隊ハ一兵ニ至ル迄新ノ如ク事無キ
 標注意スルト失ニ之ガ監督ヲ嚴ニセラレ度

第二大隊會報

六月十一日一スロン
 セレハハ

一左記要領ニヨリ月例身体検査ヲ實施ス

實施月日	時間	實施中隊	場所	備考
六月十日	十時ヨリ	クアラポラー 第ニ中隊	約一時間	迎而健康簿ヲ交付スルニ付連名簿ハ要セズ
	十一時ヨリ	谷警備隊	約三十分	

現在頁々

大々名

六月十二日 金曜日 晴後雨 於クアラポラー

一本日在「セレムバン」部隊ヲ新師團長閣下初度巡視セ
 ラル、ヲ以テ中隊長ハ十時出發「セレムバン」部隊本部
 一赴ク

十二時三十分終了ニ歸隊ス

0530

美勤	二	第四野戦病院入院中、處治癒退隊本日	陸軍一等兵	早川春三
			第一分哨	以下五名
			第一分哨	倉本伍長
			日直上等兵	長原上等兵
			日直下士官	桂伍長
			巡察將校	中塚軍曹
勤務	三	本日、勤務員左ノ如シ		
			非常愉快ナリ	
			十三時終了ス、本日、演習ハ志氣旺盛ニシテ	
			姿勢註ニ假標刺突ヲ實施セシム	
			二十時ヨリ中塚軍曹以下三十四名各個教練射撃	

(新谷真・東京)

0531

中隊復歸ス

六八名

六月十三日 土曜日 晴後雨 於クアラピラー

一 本日十時ヨリ「クアラピラー」射撃場ニ於テ勤務者、射撃ヲ實施ス。中隊長以下三十三名十三時十分終了。全員異常ナク歸隊ス。

二 本日、射撃ハ昨日ニ比シ大體良好ナルモ未ダ射撃姿勢並ニ碇銃照準撃發ノ要領、射撃筆記ニ充公ナラズ。各人ハ寸暇ヲ惜ンデ射撃演習ヲ實施スルト共ニ射撃筆記ヲ最ニスル様注意ス。

三 午後八日直下士官ヲシテ射撃後、完全ナル兵器ノ手入ヲ實施セシム。

勤務 四 本日、勤務員左ノ如シ

巡察將校 郷端普長

0532



現在頁	五	六	八	名	以下五名	平田上等兵	以下五名	竹内伍長	長原上等兵	桂伍長	日直下士官	日直上等兵	第一分哨	第二分哨	月	日
	六月十四日	日曜日	晴	於	クアラピラー											
	本日「セレムバン」部隊本部ヨリ玉井章 ^{警備} 少尉	来リ中隊全員、月例身体検査ヲ實施ス	十三時三十分ヨリ「バハウ」警備隊、月例身体検査ヲ實施ス	十四時三十分終了全員異常ナシ	二午後八日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施ス	シム										

(納谷典・京東)

0533

陸軍

勤務	三本日ノ勤務員之如シ	巡察將校	郷端曹長
		日直下士官	藤崎伍長
		日直上等兵	佐原上等兵
		等一分哨	北條伍長
		等二分哨	以下五名
		渡利上等兵	
命令	第二大隊命令	六月十四日一ノバソ	
	一 鉄屑回收ノ目的ヲ以テ來ル十六日ヨリ四日間左記要領ニ基キ發車ハ主トシテ自勤車ノ集積站ニ回送ヲ實施ス各隊ハ左記人員ヲ差出シ池本軍曹ノ指揮ヲ受ケシムベシ		

0534

100

現 在 員 五 名	六 月 十 五 日	月 曜 日	晴	於 ク ア ラ ビ ラ ー	十九日	十八日	十七日	十六日	日		
					警備地区	クアラビラー	警備地区	ポートデクソン	實地地区		
一、十時ヨリ竹内伍長以下二十五名戰鬪各個教練並ニ 各種射撃姿勢ニ實施ス炎天下、教練ナレ共 全員志氣旺盛ナリ十三時終了ス 二、午後下士官、外出ヲ許可ス外出者三名十九時 異常ナク歸隊ス 三、十時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施					標	縦	手	差	出	区	分
					橋	要					
					輸送關テハ別ニ示ス	リセムハンニ列ル鐵道	デクソン驛トシ同日	乘積ハ「バウ」ボート			

(納谷典・京東)

0535



七 シ ム	勤務員左ノ如シ	巡察將校 郷端曹長	日直下士官 藤崎伍長	日直上等兵 佐原上等兵	第一分哨 倉本伍長	以下五名	第二分哨 八木上等兵	以下五名	現在員五 六八名	月 日 六月十六日 火曜日 晴 於クアラピラー	一十時ヨリ対位長以下四十三名共營南側ニテ照準鑑査ヲ實施セシム 終了後射撃豫行演習ヲ休標ヲ實施セシム
-------------	---------	-----------	------------	-------------	-----------	------	------------	------	----------	-------------------------	---

陸軍

0536

會報	勤務
<p>四 南警備隊會報</p> <p>一 爾今軍事郵便物中私用封書及第四種郵便物 中雜誌書籍ノ取扱ヒヲ開始セラレタルニ付 一般ニ承知セラレ度</p>	<p>二十八時ヨリ全頁假標利突並ニ射撃標行 演習ヲ實施セシム</p> <p>二 本日ノ勤務頁左ノ如シ</p> <p>巡 察 將 校 郷 端 曹 長</p> <p>日 直 下 士 官 藤 崎 伍 長</p> <p>日 直 上 等 兵 佐 原 上 等 兵 長</p> <p>第 一 分 哨 山 本 伍 長</p> <p>第 二 分 哨 桂 下 伍 長</p> <p>以 下 五 名</p>

(新谷真・東京)

0537

但シ私用封書ハ内容ヲ具シ申隊長(之
ニ準ズル者ヲ含ム)以上ノ許可検閲シタ
ルモノニ限ル

一 昭南島ニ於テル今次激戦地ヲ左記ノ通り
稱呼スルコトニ定メラル

尚各山頂及本道ノ口ニハ標柱ヲ植立セラ
レアリ

左記

旧名	新稱
ブヤン、マンタイ (Δ422)	萬代山
ブヤントパンシヤン (Δ434)	萬代山
ブヤタイマハラス (Δ471)	武成山

會報

第二大隊會報

一 大隊特別射撃(小銃、短機関銃)ヲ七月

六月十六日ニシテ



異動	現在夏々	月日
<p>上向ニ實施ス細部ニ關シテハ別ニ示ス 陸軍一等兵 芝 床 忠 之 第四野戰病院入院中、處治愈退院 本日中隊復歸ス</p>	<p>六 九 名</p>	<p>六月十七日 水曜日 晴 於 中隊ラビラー 一 本日九時山口少尉以下二十四名「アラビラー」 出發セリ——「ビキング」方面ノ住民ノ動靜及 治安ノ情況調査ノ爲宣撫ヲ兼テ南清行 軍ヲ實施ス 十二時ニ於テ全夏異常ナク歸 隊ス 中隊長以下十名九時三十分出發 現在地—— 「タンションイホー」——「セレミントンテイ」方面ノ 住民ノ動靜偵察並ニ宣撫南清行軍ヲ兼</p>

(納谷真・東京)

0539

陸軍

施ス全員異常ナク十三時歸隊ス

該地方面ハ多少ノ食料難ニ陥リアルモ

住民ハ軍ニ信頼シ家業ニ精勵シアリ

三本日中家軍普以下二十名交代勤務ノタメ

ハハウ警備隊ニ到リ鶴田長以下十六名

歸隊ス

四年後勤務ニ支障ナク全員外ニテ許可ス

十八時全員異常ナク歸隊ス

勤務五本日ノ勤務員左ノ如シ

巡察將校 山口少尉

日直下士官 竹内伍長

日直上等兵 高原上等兵

第一分哨 佐々木上等兵

以下五名

0540

會報 六

第二分哨

加谷兵長
以下五名

南警備隊會報

六月十六日一六〇〇
七レハバン警備隊本部

一 軍紀風紀ニ就テ

ノ敬禮ハ概シテ良好ナルモ集團時ノ敬禮

ニ於テ敬禮ト呼ブ聲耳ホシテ附近ノ

者ニ徹底セザルモノアリ

ニ外出状態ハ一般ニ可ナルモ市外ノ歩行ニ

活氣ナク筆ムタルノ感答ニ乏シ堂々ト

闊歩スル如ク指導セラレ度

下士官ニシテ白ヤ禪裨ノ襟ヲ上衣ノ外ニ

出シ服装不良ナルモノアリ

一 燈火管制ニ就テ

近時一般ニ良好トナレルモ尚不充ナル箇

(新谷典・東京)

0541

所アリ地方一般ニ模範ヲ示ス目的ヲ以テ
萬全ヲ期セラレ度

巡察將校ハ不良ナル箇所ヲ發見セバ
隊長ニ注意ヲ換起スルト共ニ具體的ニ
報告セラレ度

會報

軍會報

五月十七日一ニ南

近時駐留箱ニクシマニ亘ルノ結果志氣
ノ弛緩ヲ招來シ一般ノ警戒心モ亦不充
分ト認メラル、事例アリ

一五月十五日昭南港ニ碇泊中ノ「ガソリン」塔
載陸軍貨物船第五號興安船(七五噸)ハ
「ガソリン」引火火災ヲ生起シ沈没セリ原
因目下調査中ナルモ火災豫防ニ關シ慎重
周到ヲ缺クルモノアリ

100

現在員 目日	八
<p>二五月十六日某部隊動哨ハ夜間巡察中何 者カ=刺殺セラレタリ公務ニ就レタリ ト雖モ警戒心不充公ニシテ且其發見者 シク遲延シ連絡處置ニ於テ缺クル所 アリ</p> <p>將來益々志氣ヲ振興シ警戒ヲ嚴ニシ苟 ク无敵性分子等、寸分架ズベキ虚隙 無カラシムル様嚴ニ注意ヲ要ス</p> <p>六五名</p> <p>六月十八日本曜日 晴後雨 於クアラピラー 一十時ヨリ竹内伍長以下三十八名兵營北側ニテ 戦闘各個教練輕易ナル陣地攻撃ヲ實 施ス</p> <p>二午後ハ全員射撃豫行演習迄ニ銃剣術ヲ</p>	

(納谷典・東京)

0543



實施セシム 三兵器検査書類提出ノタメ菊原軍曹ヲシ テ第二大隊本部ニ赴カシム	勤務 四本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察將校 山口少尉	日直下士官 竹内伍長	日直上等兵 高原上等兵	第一分哨 北條伍長	第二分哨 以下五名 渡利上等兵	現在員五 六月十九日 金曜日 晴後雨 於クアラビニ 一 九時ヨリ 柳端曹長ヲシテ 改正陸軍刑法
---	-------------------	--------------	---------------	----------------	--------------	-----------------------	---

陸軍

0544

美勤	陸軍一等兵	陸軍上等兵	第一分哨	第二分哨	第一分哨	日直上等兵	日直下士官	巡察將校	三本日ノ勤務員左ノ如シ	二午後日直下士官ヲシテ休操假操刺突ヲ實施セシム	ニ就イテ訓示ヲ行フ十二時終了ス	ニ就キ講議セシメ後馬來將來ノ發展
	尾子清松	高橋	以本五名	倉本伍長	以下五名	八木上等兵	高原上等兵	山口少尉				

(納谷典・東京)

0545

陸軍

現在頁	月日	勤務
五	六月二十日 土曜日 晴後雨 於クアラピニ	三本日ノ勤務頁左ノ如シ
六三	被英語教育者トシテ大隊本部ニ出張ス	一 本日後ハ全頁ヲ以テ班内ニシテ洗濯ヲ實施セシム 二 午後八全頁ヲ以テ班内ニシテ洗濯ヲ實施セシム 三 除ク實施セシメ然ル後射撃操行補習 四 遊戯ヲ實施セシム 五 巡察將校 山口少尉 六 日直下士官 高永軍曹 七 日直上等兵 山木上等兵 八 第一分哨 山本兵長 九 以下五名

0546

第二分肖	鴨 伍 長 以 下 五 名	命 令 四	第二大隊日々命令	六月二十日一六〇 セレムハンバノ	一六月七日別紙計畫ニ基キ大隊特別射撃ヲ 實施ス	實施ス	仍テ各隊ハ計畫ニ依リ射撃ノ差武註ニ 準備ヲ實施スベシ	會 報 五	會 報	六月二十日一六〇 セレムハンバノ隊本部	一六月二十三日團隊長會同事項ヲ傳達セラル、	ニ付大中獨立小隊長ハ十時迄ニ聯隊本部	ニ集合セラレ度(第三大隊ヲ除ク)	服裝ハ單獨ノ服裝トシ先般配布セシ團	隊長會同書類全部ヲ携行セラレ度	尚右終了後御下賜ノ御酒御故菜及御
------	---------------------------------	-------------	----------	---------------------	----------------------------	-----	-------------------------------	-------------	--------	------------------------	-----------------------	--------------------	------------------	-------------------	-----------------	------------------

(納谷典・東京)

0547

會報六

縮率ヲ別紙分配区分表ノ通り分配セラル
ニ付略後ヲ施行セラレ度

兵團會報

六月二十日一六〇〇
クアラランポール

服装ニ關スル指示

一自今將校以下ノ襟章ハ陸連第一八號ニテ

規定ノ通り襟部ニ附着スベシ

但シ下士官以下ニシテ襟章一個ノミ所持

セルモノニ限り其ノ支給ヲ受クル迄上衣ノ左

胸部ニ附着スルコトヲ得各部隊襟章

不足數ハ階級別毎ニ兵團經理部ニ補

給請求セラレ度

ニ襟章ニハ襟章ヲ附着セザルモノトス從ツテ

勤務及外出時等ニハ必ず襟章ヲ附着シ

アル上衣ヲ着用スベシ

<p>三路衣袴ハ茶褐色ト規定セラレアルヲ以テ其以 外ノ色ノモノハ勤務及外出時等ニハ着用セ ザルモノトス</p>	<p>(白茶黄鼠色等何レモ不可) 四路衣袴ノ正規品(將校准士官營外文官用)ハ近 ク(本目下旬頃)軍酒係ニ於テ取費セラルル 豫定</p>	<p>備考</p>	<p>第二項中「袴」トハ夏袴(開襟式) アラザルモノヲ意味シ「上衣」トハ夏衣(防着 衣)ヲ示ス</p>	<p>但シ試製夏袴(防着袴)現地夏袴 袴ノ開襟式ノモノハ袴章ヲ附シ上衣代 用トシテ使用スルユトヲ得</p>
---	---	-----------	---	---

(納谷真・東京)

0549



現在員	六	三	名
月	六月	二十一日	日曜日
日	晴後雨	於クアラピラー	
勤務	二十時ヨリ	兵營ニ於テ	中隊長以下四十名各
	個教練	各種射撃姿勢ヲ	實施ス大隊、射
	撃大會	ニ目前ニ通り	志氣天ヲ衝クモノアリ
	二十五時ヨリ	藤崎任長以下	三十四名銃剣術直
	突進ニ	假標刺突ヲ	實施セシム
	三本日、勤務	員左ノ如シ	
	巡察	將校	山口少尉
	日直	下士官	富永軍曹
	日直	上等兵	山本上等兵
	第一分	哨	兼田兵長
	以下	五	名

陸軍

0550

勤務	現在頁 月 日	異動
三 本日ノ勤務員左ノ如シ	五 六月二十二日 月曜日 晴後雨 於クアラピラー 一十時ヨリ鴨任長以下三十八名兵營外ニ於テ標準 監査ヲ實施セシメ後各種射撃姿勢ヲ註ニ提 銃演習ヲ實施セシメ十三時二十分終了ス 二午後ハ一般ニ休務トシ打堤任長以下三十八名 昭和パークニ引率外出ヲ許可ス 十九時全員異常ナク帰隊ス	四 陸軍一等兵 之 保 哲 夫 第四野戦病院入院中ノ處治療退院 本日 中隊復歸ス 六 四名 桂 任 表 以下 五 名

(納谷典・東京)

0551

陸軍

巡 察 特 技 山 口 少 尉

日 直 下 士 官 高 永 章 曹

日 直 上 等 兵 山 本 上 等 兵

第 二 分 哨 出 雲 上 等 兵

以 下 五 名

第 一 分 哨 藤 崎 伍 長

以 下 五 名

命 令 口 高 警 日 命 第 四 六 號

南 警 備 隊 日 々 命 令 六月二十二日一六〇〇
セレムバン警備隊本部

「セレムバン」駐留規定並馬來駐留間外然ニ關

スル規定ヲ左記ノ通り一部訂正ス

左 記

「セレムバン」駐留規定

第 四 條 內 務 一 日 課 特 限 中

0552



<p>日夕點呼 二一〇〇ヲ 二〇三〇ニ</p>	<p>(一)馬來駐留間外出ノ關スル規程</p>	<p>第一中 下士官(管外居住下士官ヲ含ム)……ノ</p>	<p>姓孤ハ、削除ス</p>	<p>陸軍一等兵 石 岡 實</p>	<p>同 久 保 定 夫</p>	<p>第四野戰病院入院中治愈退院本日中隊 復歸ス</p>	<p>現在員 六 六 名</p>	<p>月 日 六月二十三日 火曜日 晴 於クアラピラー</p>	<p>一本日クアラピラーレ 警備隊ニ於テハ山口少尉 以下三十名九時三十分出發クアラピラーレ ハトキヤル シュアセレ方面ニ 示威肅清行軍ヲ 實施ス</p>
-------------------------	-------------------------	-------------------------------	----------------	--------------------	------------------	----------------------------------	------------------	---------------------------------	--

(新谷真・東京)

0553